

## 平成 29 年度 第 2 回坂町総合教育会議録（会議概要）

- |        |   |                     |
|--------|---|---------------------|
| 1 日 時  | 平成 29 年 12 月 21 日（木）                                  | 16 時 30 分～17 時 20 分 |
| 2 場 所  | 坂町役場 会議室 3  |                     |
| 3 出席委員 | 吉田隆行町長・太田耕樹教育長・松村英勝教育委員<br>埤本友造教育委員・平沖純子教育委員・向井智恵教育委員 |                     |
| 4 出席職員 | 河本教育次長・藤本総務課長<br>新谷学校教育課長・福嶋生涯学習課長                    |                     |
| （記録者）  | 肥田学校教育課係長   |                     |

### <会議概要>

1. 開会宣言（藤本総務課長）
2. 吉田町長あいさつ
3. 「平成 30 年度坂町教育に関する大綱」について
  - ・河本教育次長概要説明
4. 「平成 30 年度主要事業（案）」について
  - ・新谷学校教育課長及び福嶋生涯学習課長概要説明

（吉田町長）

メキシコオリンピックチーム事前合宿受入事業における実行委員会の立ち上げはどうなっているか。

（福嶋生涯学習課長）

現在、実行委員の選出や要綱等の整備を行っている段階である。

（吉田町長）

他町を参考にすることも必要である。4 月以降は専属して担当者を置く必要があるかもしれない。現在、B & G 海洋センターのインストラクターは誰か。

（福嶋生涯学習課長）

スポーツ振興係長が持っている。

（吉田町長）

海洋センターを建てる際の約束事なのかもしれないが、小さな自治体では人事異動

で配置できない状況もある。その都度、資格を取りに行かなければならない。専門の職員を採用する必要があるのかもしれない。

(河本教育次長)

他町では、委託している所もある。

(吉田町長)

承知している。その場合、トータルコストはどうなのか。町民に不利益になる形は避けなければならない。商売色が全面に出て、町民が利用しづらいという事になってもいけない。

(河本教育次長)

いろいろな面を調査してみる。

(吉田町長)

公的機関もコスト面を考えることが重要である。比較できるような資料を作ってもらいたい。ただ、教育に関わるものは子どもたちのためなので、やらなければいけないものは予算化していきたい。

## 5. その他

- ・新谷学校教育課長から、広島県新体力テスト調査結果について概要説明

(吉田町長)

中学校においては部活動の取組の成果、小学校はスポーツ少年団等の活発な活動が良い結果へと結びついたのだと感じる。学力向上は大切なことだが、体力がないと何事もやり遂げられない。良いことだ。

(太田教育長)

中学2年生の女子がトップであることに意味がある。一般的に「何かに一生懸命取り組む」という姿が恥ずかしいと思ったりする年代でもある。しかし、坂中学校の生徒は、体育祭においても文化祭においても、何事にも一生懸命取り組むという姿勢が見られることが、このような結果に繋がったのだと思う。

(吉田町長)

指導する教職員ののんびりも評価したい。児童生徒と一緒に汗を流して取り組む指導が良いことだと思う。

(藤本総務課長)

その他、何かあるか。

(吉田町長)

複式学級というのは、どのようなシステムか。

(太田教育長)

1 学年と 2 学年の児童数が 8 名以下、3 学年と 4 学年又は 5 学年と 6 学年の児童数が 16 名以下の場合、複式学級となる。

(吉田町長)

現段階では何名となっているのか。

(太田教育長)

来年度の 3 学年と 4 学年が 15 名予定となっている。2 名転入があれば解消されるのだが。

(吉田町長)

現在整備中の町営住宅へ入居してくるという可能性もある。

(太田教育長)

ただ、5 月 1 日付けを基準日として児童生徒数が確定する。それに基づき学級数や教員数の配置が確定する。それ以降にどれだけ多くの転入があったとしても複式学級となるので、準備は進めておく必要がある。

(吉田町長)

小屋浦地区の住民も心配している。町営住宅の運営等、新たな方法を考え活性化に繋がる良い形へと向かうことが望ましい。

(藤本総務課長)

その他、何かあるか。

(吉田町長)

坂中学校の部活動はとても良くがんばっている。これは、町全体の活性化の源であり、この活動に対する予算化は引続き進めていき、「住んでみて良い町」という情報が人伝いに広がる環境づくりを目指したい。また、六角御輿の修復が完了すれば、フラワーフェスティバルへの出場も視野に入れたい。中学生が歴史・文化を学び、担ぐ事で重さを肌で感じ、大人になった時に「ふる里 坂」を感じてくれたら良い。中学生全員が参加するのは難しいが、かなり重いので担ぎ手をローテーションしながら歩くなど、学校現場と連携をしながら進めていきたい。担いだ生徒は良い経験になるし、それを見に行く家族も良い思い出となり、家族愛へと繋がるのだと思う。

委員の皆様にも、いろいろとご協力いただくこともあると思う。坂町及び坂町の教育の発展のため、今後ともよろしくお願いします。

6. 閉会宣言（藤本総務課長）